経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県神川町　冬桜の宿　神泉

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	Ａ１Ｂ２	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**建物延面積(㎡)**	**宿泊定員数(人)**	
該当数値なし	該当数値なし	1,022	60	

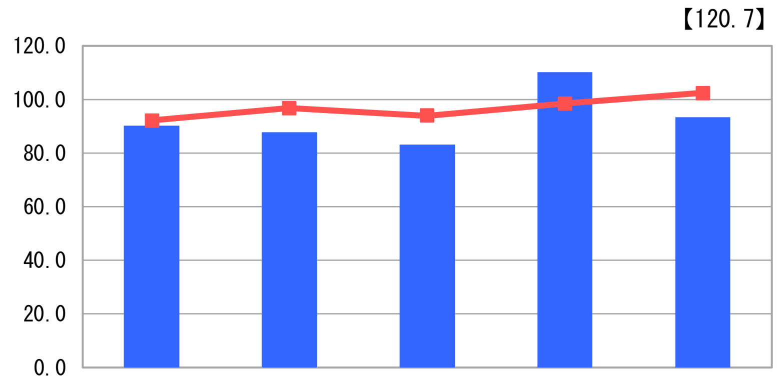
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
-	無	-
バリアフリー法の基準適合性	**トイレ洋式化率(%)**	**Wi-Fi設置**
有	100.0	有

グラフ凡例
■　当該施設値（当該値）
ー　類似施設平均値（平均値）
【】　令和5年度全国平均

1. 収益等の状況

①収益的収支比率(%)

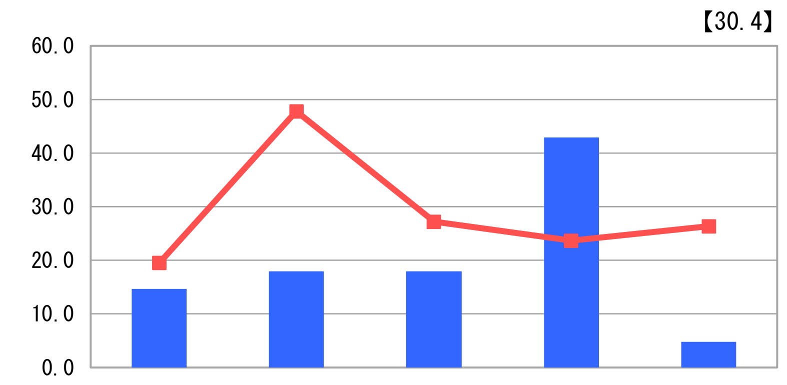
【120.7】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	90.2	87.7	83.2	110.3	93.4
平均値	92.2	96.8	94.0	98.4	102.5

②他会計補助金比率(%)

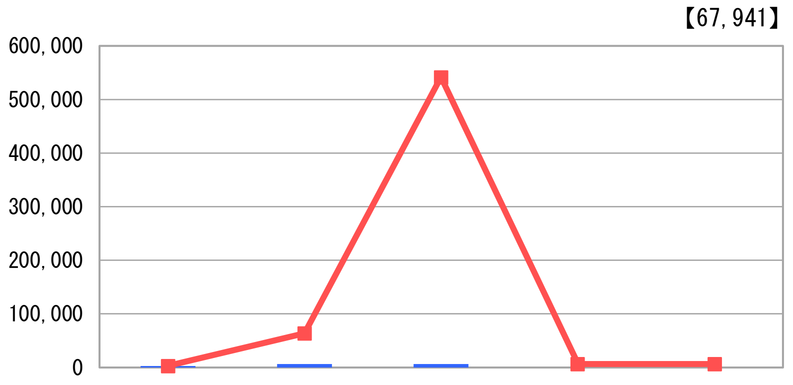
【30.4】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	14.7	18.0	18.0	42.9	4.8
平均値	19.5	47.8	27.2	23.7	26.4

③宿泊者一人当たりの他会計補助金額(円)

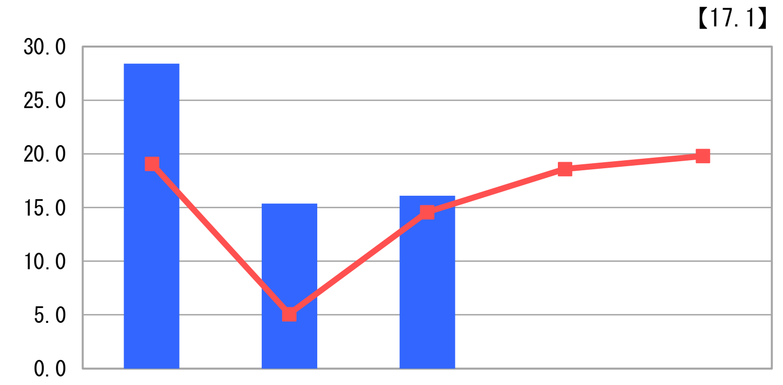
【67,941】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	3,321	6,203	6,360	0	0
平均値	3,122	63,431	541,785	5,910	6,101

④定員稼働率(%)

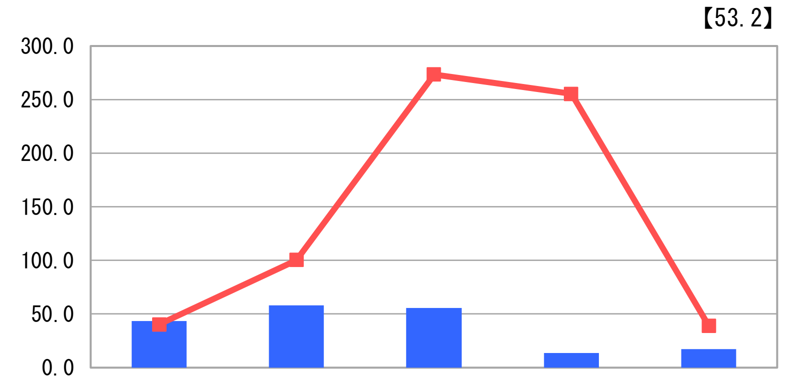
【17.1】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	28.4	15.4	16.1	0.0	0.0
平均値	19.1	5.1	14.6	18.6	19.8

⑤売上高人件費比率(%)

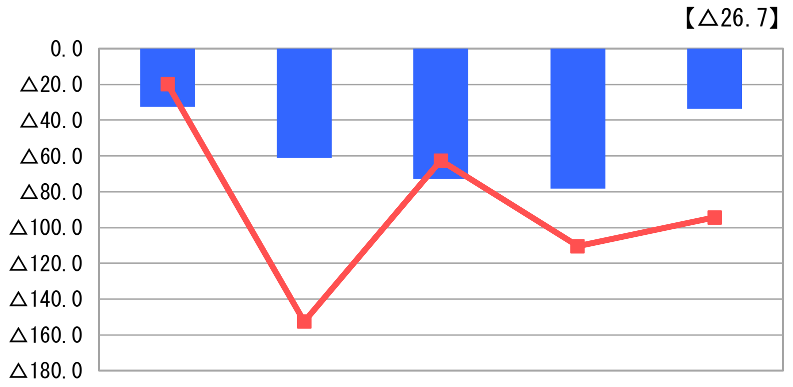
【53.2】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	43.6	58.0	55.8	13.7	17.6
平均値	40.3	100.4	273.4	255.5	39.4

⑥売上高ＧＯＰ比率(%)

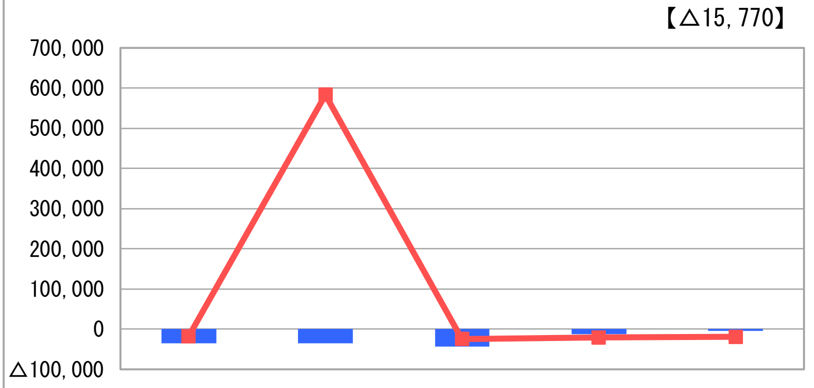
【△26.7】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	△32.5	△61.1	△72.7	△78.1	△33.6
平均値	△19.8	△152.6	△62.5	△110.4	△94.5

⑦ＥＢＩＴＤＡ(千円)

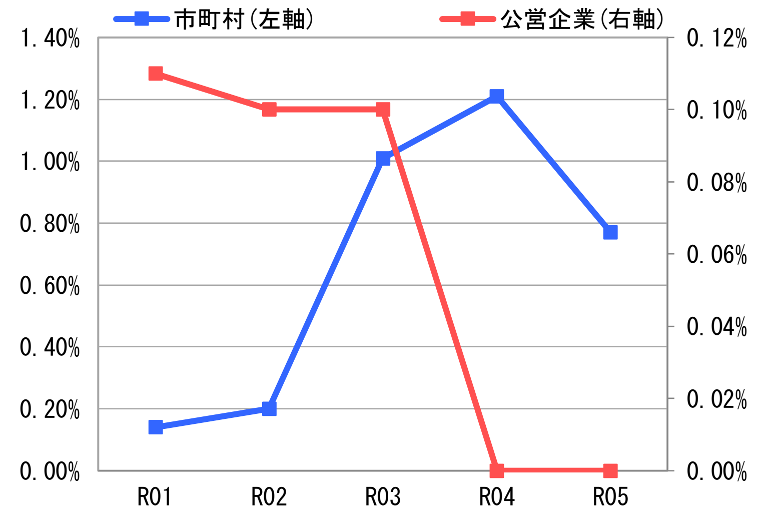
【△15,770】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	△34,595	△35,140	△43,439	△12,984	△3,657
平均値	△18,007	583,147	△24,727	△21,071	△18,563

3. 利用の状況

⑬施設と周辺地域の宿泊客数動向



2. 資産等の状況

⑧有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

⑨施設の資産価値(千円)

154,893

⑩設備投資見込額(千円)

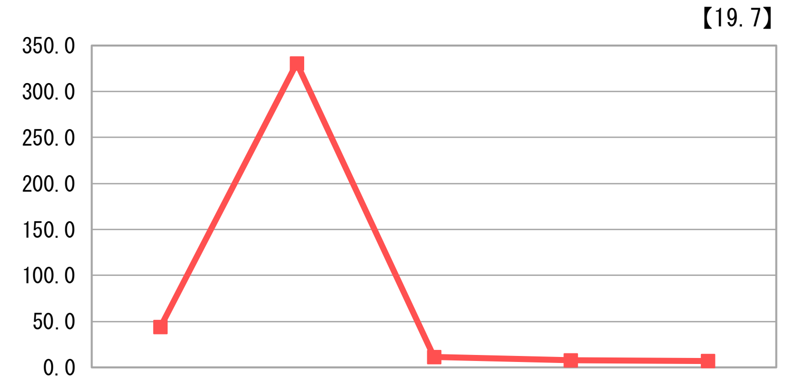
36,960

⑪累積欠損金比率(%)

該当数値なし

⑫企業債残高対料金収入比率(%)

【19.7】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	43.6	330.8	11.2	7.9	6.9

分析欄

1.　収益等の状況について

①収益的収支比率は令和４年４月から冬桜の宿が休館となり令和５年９月に民間譲渡が完了し、繰入金が減額したため、収支比率が減少しました。
②他会計補助金比率は、令和５年９月に冬桜の宿神泉を民間譲渡しており、補助金自体が１つ減少したため前年より低い数値となった。
③宿泊者一人当たりの他会計補助金額は令和４年４月より冬桜の宿神泉が休館、令和５年９月未勘定としているため、0%となります。
④定員稼働率は冬桜の宿神泉が令和４年４月より休館、令和５年９月に民間譲渡しているため、0%となります。
⑤売上高人件費比率は類似施設平均よりは低い値ですが、冬桜の宿が休館、令和５年９月民間譲渡となったため、さらに低い値となりました。
⑥売上高GOP比率は売上高は微増でしたが、施設老朽化による修繕費用の増の影響で落ち込んでいます。
⑦EBITDAは施設老朽化による修繕費用の増の影響で、値が下振れしています。

2.　資産等の状況について

⑩設備投資見込み額は、更に老朽化による設備投資が増えることが予想されます。
⑫企業債残高料金収入比率については、観光施設事業に関わる企業債は平成27年度に完済、平成24年度から指定管理者制度を導入し、現在は民間譲渡しており、料金収入もないため0%となっています。

3.　利用の状況について

⑬施設と周辺地域の宿泊客動向については、当該施設及び周辺地域それぞれの延宿泊者数が、所在都道府県の延宿泊者数に占める割合の推移を表す指標です。
公営企業が下降傾向、所在市町村が上昇しているため、民間譲渡等の検討が進められ、令和５年９月に民間譲渡した。

全体総括

当該施設については平成16年度から事業を開始し、平成24年度からは指定管理制度を導入して運営していた。しかし令和４年４月から休館となったため、民間譲渡を含めた施設の活用を検討し、令和５年９月に民間譲渡した。当該施設は下久保ダムや城峯公園といった施設が近くにある立地で、観光客が多く訪れる場所ではありますが、山中にあり、冬季には路面の凍結が発生するなど、周辺観光環境の整備や閑散期における宿泊客獲得に向けた対応が必要です。